



学びと地域を 紡ぐ未来へ

学生の地元就職を成果指標とした出口(就職先)が一体となった
地方創生人材教育プログラム構築事業の成果と兆し、
これからの地方創生に求められる大学の存在意義と役割

2025.2.13(木) 13:00-17:30 @一橋講堂

プログラム

開会 / あいさつ / 趣旨説明

事業報告1:信州大学

3大学(信州大・富山大・金沢大)越境連携~成長を多面的に評価する
「ENGINEルーブリック」の活用とプログラムの自走・展開

事業報告2:山梨県立大学

地域とつくる実践知教育プログラムPENTAS YAMANASHI
~「学びの山梨モデル」構築に向けて~

事業報告3:岡山県立大学

PBL演習等、地域社会との協働による
実践的な人材育成プログラムの構築

事業報告4:徳島大学

学生と企業者双方の成長を促すインターンシップを通じた
ステークホルダーディベロップメント

クロストーク:テーマ1

学修者視点で語る「大学とは何か、何のために存在し、その役割とは？」

クロストーク:テーマ2

現場視点で語る「大学とは何か、何のために存在し、その役割とは？」

講評 / あいさつ / 閉会

終了後に情報交換会を開催

会場

一橋大学 一橋講堂

〒101-8439
東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター2F

定員:250名

対象:大学教職員、中高教職員、企業経営者・社員、
行政職員、学生、事業関係者、本事業に関心のある方

参加登録



参加登録方法や講演者情報、
プログラム詳細はWebページで
順次更新致します。

締切日:令和7年2月6日(木)

<https://coc-r.jp/information/r6-symposium-info/>

お問い合わせ

信州大学 キャリア教育・サポートセンター

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
info@coc-r.jp <https://coc-r.jp/>

学びと地域を紡ぐ未来へ

学生の地元就職を成果指標とした出口(就職先)が一体となった地方創生人材教育プログラム構築事業の成果と兆し、これからの地方創生に求められる大学の存在意義と役割

開催趣旨

令和2年度にスタートしたCOC+R事業は、今年度が補助期間の最終年度となりました。今回のシンポジウムは、各事業責任大学の学長・事業担当者から事業総括と特徴的な取組成果の報告を行います。2つのクロストークでは、学生がプログラム参加を通じた「成長実感」「地域概念」の変容を語り、地域コーディネーター、受入れ企業がプログラム構築を通じた「大学の質の変化」を語り、それぞれの視点で「大学とは何か?何のために存在し、どのような役割を果たすべきか?」など、学びと地域を紡ぐ未来について視点を提供します。

開催日時・会場

日時 2025年2月13日(木) 13:00-17:30

会場 一橋大学 一橋講堂

〒101-8439

東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター2F

*会場には駐車場がありませんので、公共交通機関でお越しください

プログラム

13:00 開会あいさつ 信州大学長 中村 宗一郎

13:05 文科省あいさつ 文部科学省 審議官(総合教育政策局担当)

13:15 主旨説明 COC+R事業統括コーディネーター 信州大学 特任教授 矢野 俊介

13:20 **事業報告1:信州大学** 地域基幹産業を再定義・創新する人材創出プログラム「ENGINE」

3大学(信州大・富山大・金沢大)越境連繫～成長を多面的に評価する「ENGINEルーブリック」の活用とプログラムの自走・展開

事業総括: 信州大学長 中村 宗一郎 / 取組成果報告: 信州大学 キャリア教育・サポートセンター 副センター長 勝亦 達夫

13:40 **事業報告2:山梨県立大学** VUCA時代の成長戦略を支える実践的教育プログラム「PENTAS」

**地域とつくる実践知教育プログラムPENTAS YAMANASHI
～「学びの山梨モデル」構築に向けて～**

事業総括: 山梨県立大学長 早川 正幸 / 取組成果報告: 山梨県立大学 学長補佐・地域人材養成センター長 杉山 歩

14:00 **事業報告3:岡山県立大学** 「吉備の杜」創造戦略プロジェクトー雑草型人材育成を目指してー

PBL演習等、地域社会との協働による実践的な人材育成プログラムの構築

事業総括: 岡山県立大学 学長 沖 陽子 / 取組成果報告: 岡山県立大学 「吉備の杜」推進 室長 末岡 浩治

14:20 **事業報告4:徳島大学** とくしま創生人材・企業共創プログラム

**学生と企業者双方の成長を促すインターンシップを通じた
ステークホルダーディベロップメント**

事業総括: 徳島大学長 河村 保彦 / 取組成果報告: 徳島大学 人と地域共創センター 特任准教授 川崎 修良

14:40 休憩

14:50 **クロストーク:テーマ1**

学修者視点で語る「大学とは何か、何のために存在し、その役割とは?」

登壇者: プログラム受講学生(4名) / コメンテーター: COC+R事業評価委員会 委員
ファシリテーター: 信州大学 副学長(エンロールメント・マネジメント担当) 林靖人

15:50 休憩

16:00 **クロストーク:テーマ2**

現場視点で語る「大学とは何か、何のために存在し、その役割とは?」

登壇者: 事業コーディネーター・受入企業(4名) / コメンテーター: COC+R事業評価委員会 委員
ファシリテーター: 山梨県立大学 学長補佐・地域人材養成センター長 杉山 歩

17:00 講評 COC+R事業評価委員会 委員

17:15 事業総括・閉会あいさつ COC+R事業 統括コーディネーター 信州大学 特任教授 矢野 俊介

17:30 閉会

18:00 **情報交流会(会費制)** 会場:一橋講堂 中会議室1・2

各事業成果のポスター掲示、プログラム受講学生、登壇者も参加し、情報交換を行う予定です。
19:30終了 会費:5,000円 を予定しています。



中村 宗一郎
信州大学長



早川 正幸
山梨県立大学長



沖 陽子
岡山県立大学 学長



河村 保彦
徳島大学長

